

村上敏子先生の臨床報告は、今回で終
わります。障害のあるなしにかかわら
ず、お互いをよく知り、認め合うこと、
人として大切にされ生かしていくことの
重要さを感じています。一年間、どうも
ありがとうございました。

今月から、高原典子先生の「絵本の世
界」が始まります。大槻優子先生のチェ
コ便りは、今年は何数月に連載されま
す。どうぞよろしくお願い致します。

「よし藤・こども浮世絵……」を書いて
下さった中村光夫先生は、現役の小学校
の先生で、よし藤の研究家、コレクター
でもあります。よし藤の浮世絵を見てい
ると、江戸の末期の子ども達の生き生き
とした生活が見えてくるようです。動物
や道具やほおずきなどにおきかえて描か
れた「人物」は大人の生活を子どもに伝
える教科書の様でもあります。又、この
絵は、切りぬいてめんこやきせかえ人形
にしたり、絵本や立体組み立てにもなり
ます。これに近いものが、私の子どももの

頃にもあったように思います。めんこ、
紙のきせかえ、ぬり絵、付録の組み立て
等……。ほんの二、三十年程前まで、こん
な世界がまだ残っていたように思いま
す。今の様に、こんなに物の豊かな時代
ではなかったけれど、小さな駄菓子屋さ
んの店先に、子どもの世界が広がって
ました。

この四月から、新指導要領が実施され
ることになり、小学校では、社会科と理
科を統合した生活科が始まります。その
裏には、学校教育の中に、生活と体験を
取り入れざるを得なくなった、今日の子
ども達の現状があるのでしょう。何かに
興味をもち、自分で考え、行動し、工夫
をしてみる。小さなことの積み重ねでい
いのですが……。今の子ども達には、それ
をする時間の空白が少なすぎます。

よし藤の絵に描かれる子どもたちの自由な
世界を通して、今の子ども達に何を
あげられるか、何をしない方がよいか
考えてみてはいかがでしょうか。(K)

幼児の教育

第九十巻 第二号

(一九九一年二月号)

定価四一〇円(本体三九八円)

平成三年二月一日 発行

編集兼発行人 本田和子

発行所 日本幼稚園協会

東京都文京区大塚二一一一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

印刷所 図書印刷株式会社

東京都港区三田五一一二一一

発売所 株式会社フレールベル館

東京都千代田区神田小川町三一

一 振替口座 東京九一一九六四〇

電話〇三三三二九二一七七八一

●本誌購読のご注文は、発売所フレールベル館
館にお願いたします。

●万一、落丁・乱丁などがございましたら、
おとりかえいたします。